

関係者の皆様へ

公益財団法人反差別・人権研究所みえ
理事長 前嶋 徳男
(公印略)

感染症差別問題を考えるオンライン人権講座について（ご案内）

日頃からの、人権確立に向けたご尽力に敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大にともなって、感染者や家族、医療従事者や運送業者等への差別やデマが深刻化しています。三重県内においても深刻な問題が発生しているなか、これまでの構造的差別が顕在化するかたちで、マイノリティに対する「間接差別」も引き起こされています。

こうしたことから、感染症差別について学び、問題の解決に向けた取組などについて考えていきたいと思えます。感染症対策で既存のかたちでの講座開催が困難な状況を受け、オンラインでの開催とします。ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

第1回：テーマ「今日の感染症差別の現状と、過去の感染症の教訓から学ぶ」 参加費無料

1) 日 時：第1回 6月20日（土）10:00～12:00

2) 開催方法：Zoom ミーティングを使用したオンライン開催

3) 内容：講座形式

・簡単な Zoom の使い方の説明

①報告「新型コロナウイルス感染症拡大にともなう

直接差別と関連差別の現状と課題」（仮題）

報告者：松村元樹（ヒューリアみえ 事務局長）

②報告「ハンセン病問題を学び、感染症差別解決の糸口を探る」（仮題）

報告者：訓覇 浩さん（ハンセン病市民学会 事務局長）

③質疑・応答や意見交換 等

定員:50人
締め切り:6月16日

第2回：テーマ「既存の構造的差別により、厳しく集中的な影響を受けているマイノリティの現状と課題、解決に向けた取組を考える」 参加費無料

1) 日 時：第2回 7月4日（土）10:00～12:00

2) 開催方法：Zoom ミーティングを使用したオンライン開催

3) 内容：パネルディスカッション

パネラー：外国人問題（多文化共生エスペランサ 青木幸枝さん）

障害者問題（ピアサポートみえ 杉田宏さん）

教育的不利な環境で育つ子どもや保護者（教職員 苗村祥代さん）

女性問題等（フレンテみえ 荻原くるみさん）

コーディネーター：（メイン：本江、サブ：松村 ヒューリアみえ）

質疑・応答や意見交換 等

定員:50人
締め切り:6月30日

※申し込み等については裏面をご確認ください

参加申込・参加方法について

メールでの申込のみとさせていただきます。メールの件名に参加を希望される回、本文に「①お名前」「②ご所属」「③メールアドレス」「④参加にあたっての興味・関心」をご記入ください。第1回は6月16日、第2回は6月30日までに申し込みください。

申込用メールアドレス： yasuda@kenkyu-mie.or.jp

資料や情報の送付

記入いただいた「③メールアドレス」宛に、報告者やパネラーの関連資料と、Zoom ミーティング参加に必要な情報（ID とパスワード）を第1回分は6月19日、第2回分は7月3日にお送りします。

当日

①第1回、第2回ともに「9：30」から受付を開始します。

その他

①第1回、第2回ともに定員に達し次第、参加申込の受付は締め切ります。

②記入いただいた個人情報については、本講座の運営上の目的以外には使用しません。

留意事項

①第1回・第2回ともに定員制、参加費無料です。

②当日の視聴に使用されるパソコン、タブレット、スマートフォンに「Zoom」のソフト・アプリをあらかじめダウンロードし、カメラ・マイクの接続確認を各自でお願いします。

③カメラ・マイク機能がなくても、視聴のみの参加が可能です。

④参加者全員の肖像の取り扱いの可否を確認しないかたちでの開催のため、主催者以外、本講座の二次利用（録音・録画等）については原則お断りします。

⑤主催者側は、講座の内容を録画・録音をし、後に当研究所ホームページ内にある会員ページへの掲載や、録画した動画を編集し、啓発のために動画サイトに投稿するなど予定しております。

⑥マスメディア関係者にも参加を呼びかけている関係上、当日、事後を含め取材が行われる場合があります。動画や紙面等でお顔やお名前を取り上げられることを拒否される場合は、カメラ機能をオフにしておいてください。当日も案内いたします。

⑦本講座の趣旨に反する参加についてはお断りします。

お問い合わせ

公益財団法人反差別・人権研究所みえ 担当：安田

〒514-0113 津市一身田大古曾 693-1

電話 059-233-5525